

**生育は全般に平年並です。浅水管理で茎数を確保し、6月20日頃から作溝・中干し開始！**

### 1 6月9日現在の生育診断圃の生育状況

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	残存アミノ酸 態窒素 (mg/100g乾土)
はえぬき 酒田市荻島 5/10移植	本年	30.8	358	7.2	39.1	8.4
	前年	28.4	370	7.0	40.0	7.8
	平年	29.5	404	6.9	39.9	7.5
	平年比	104	89	+0.3	-0.8	+0.9
つや姫 酒田市漆曾根 5/11移植	本年	33.6	243	6.7	38.0	4.8
	前年	31.6	197	5.1	32.4	7.1
	平年	31.0	236	6.1	36.0	5.6
	平年比	108	103	+0.6	+2.0	-0.8
雪若丸 酒田市前川 5/9移植	本年	25.9	308	6.6	43.9	5.1
	前年	22.4	249	6.4	38.7	8.3
	平年	27.8	306	6.8	39.6	-
	平年比	93	101	-0.2	+4.3	-

5月6半旬～6月1半旬の日照時間は平年比71%と、曇天で気温の日較差が小さく推移しました。稲もやや葉伸びしている傾向にあります。

生育診断圃の生育は、全般に平年並となっています。このうち、「はえぬき」の茎数の平年比が少ないのは、栽植密度の低下によるものであり、下位分けつは揃って発生しています。

下位分けつが欠けている圃場では、苗質、植込本数（大苗）、植付深、水管理、田ワキへの対応等が適切だったかを今一度振り返りましょう。

### 2 今後の気象予報と水管理

1か月予報（仙台管区气象台・6月8日発表）によると、期間の前半は、気温がかなり高くなると予想されています。

今の時期は有効茎を確保する重要な時期です。日中は3cm程度の浅水管理（日中止水）を徹底し、地水温を高め、入水は夜間に行い、分けつの発生を促進しましょう。茎数確保が順調な圃場では、6月20日を目安に作溝・中干しを始めましょう。

6月に入り、土壌還元（田ワキ）の程度が強まって来ています。田ワキによる生育停滞がみられる圃場では、水交換・夜間落水・田干しを行いましょう。



**農作業安全 & 熱中症予防**